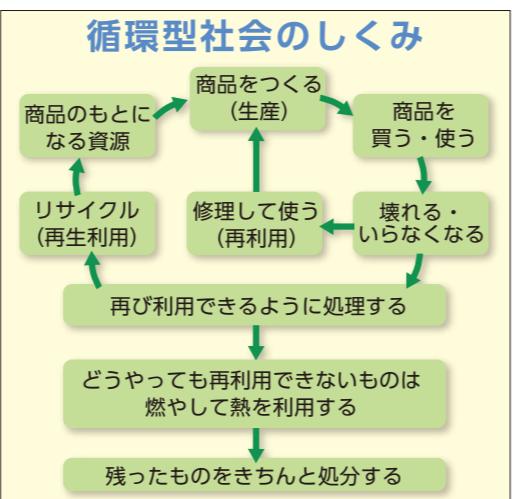


V-1 持続可能な社会をめざして

私たちの消費行動が環境に影響を与える

私たちがこれまでに大量生産、大量消費、大量廃棄という生活をしてきた結果、日本のゴミ問題は深刻な状況になってしまいました。また、快適な生活を追及することで大量のエネルギーを消費し、環境破壊も進んでいます。こうした生活を見直し、持続可能な社会をつくっていくことが、今私たちに求められています。

毎日の生活の中で、無駄な商品を買わないようにしたり、ゴミの量を減らしたり…。そうした私たちの一つひとつの行動が、かけがえのない環境を守り、限りある資源を未来へつなげていくことになるのです。



環境に配慮した生活をしよう！

「5R（ファイブアール）」とは、ゴミを減らして有効活用するための行動を表すキーワードです。今までの「3つのR」に「リフューズ（Refuse）」と「リペア（Repair）」を加えて、「5つのR」を呼びかけています。自分にできることを考え、ゴミを減らす工夫をしましょう。私たちが使う製品には、分別・リサイクルができるように識別マークが表示されています。マークの意味を知って、しっかり分別しましょう。

また、再生利用商品などの環境にやさしい商品には、環境ラベルがついています。商品を買うときには環境ラベルなどをチェックして、地球にやさしい買い物をしましょう。

● 環境を守る行動として、ゴミを減量する取組「5つのR」でゴミを減らす。

Refuse (リフューズ) ゴミになるものを家庭の中に持ち込まない。	断る	・レジ袋を断る。 ・不要な包装を断る。 ・不要なものは買わない。
Reduce (リデュース) ものを大切にし、ゴミを出さない。増やさない。	減らす	・使い捨て商品は使わないようにする。 (マイバッグ、マイはしを携帯する) ・食べ物を残さない。
Reuse (リユース) 使えるものは繰り返し何度も使う。そのままの形で再利用する。	再使用	・牛乳びんやビールびんなど、再使用できる容器のものを利用する。 ・小さくなった洋服は他の人に使ってもらう。
Recycle (リサイクル) 使用できなくなったものを資源として再利用する。	再生利用	・新聞紙や雑誌などの古紙のリサイクルに協力する。 ・資源ごみの分別を行う。
Repair (リペア) 壊れたら新品を買うではなく修理して使う。	修理	・壊れても修理して使えないか判断し、できるだけ修理して使用する。

- ・ゴミの再生利用のためには、ゴミの分別のルールを守ることが基本です。
- ・分別の方法は居住する市町などにより異なっているので、住まいが変わった時には、まず確認して、ルールを守って生活しましょう！



V-2 地球温暖化対策 CO₂を減らす生活をしよう！

私たちは電気や石油などのエネルギーを消費し、便利で快適な生活をしていますが、その結果、地球温暖化の原因となる多くのCO₂を排出しています。

生活の中でCO₂を減らすためには、身の回りの省エネが大事です。

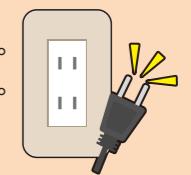
Point /

生活の中での省エネ対策

①電気の使い方で減らす

日常生活に必要な電気の多くを作る火力発電所では、石油や石炭が利用されています。

- ・使っていないときに電源プラグをコンセントからこまめに抜き、待機電力を減らす。
- ・冷房は28°C以上、暖房は20°C以下に設定する。・必要のない電灯は消す。
- ・冷蔵庫にものを詰めすぎない。・洗濯はまとめてする。など



②水道の使い方で減らす

水道水の送水にはたくさんの電気が使われています。また水をお湯にするのにも、ガスや電気を使います。

- ・シャワーは出しっぱなしにしないで、こまめに止める。
- ・ふろのお湯を再利用する。・水道の蛇口をきちんと閉める。など



③エコドライブでガソリンや軽油の使用を減らす

ガソリンや軽油を自動車の燃料として使用するとCO₂が発生します。

- ・やさしい発進（ふんわりアクセル）と早めのブレーキ（アクセルオフ）
- ・アイドリングストップ など



知識 CO₂排出量はこれだけ減らせる！

CO₂の量ってどのくらい?
CO₂1gが500mlペットボトル1本

冷房の設定温度を
27°Cから28°Cに上げる
→1世帯あたり
約12.7kg/年



(参考) 1世帯あたりの家庭でのCO₂排出量は年間約5,000kg。★杉の木1本のCO₂吸収量は14kg/年です。

暖房の設定温度を
21°Cから20°Cに下げる
→1世帯あたり
約22.2kg/年



(杉の木1本半)

家族全員がシャワーを使う時間を1日1分減らす
→1世帯あたり
約73.0kg/年



(杉の木5本)

マイバックをもち、省包装の製品を選ぶ
→1世帯あたり
約58.0kg/年



(杉の木4本)

■ 「COOL CHOICE」を実践しよう

地球温暖化対策のため、「節電などの省エネ行動を行う」、「省エネ性能が高い製品を購入する」、「バスや電車といった公共交通機関を積極的に利用する」など、環境に配慮した選択をする国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」が展開されています。このページで紹介している省エネ対策も、簡単なことですが立派な「COOL CHOICE」です。まずは身の回りのちょっとしたことから、「COOL CHOICE」を実践してみましょう。

環境省「COOL CHOICE」ホームページ
<http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>



未来のかめに、いま選ぼう。